

MACF 礼拝説教要旨

2024年5月26日

「実現した贖い」

ヘブライ人への手紙 9章

11 けれども、キリストは、既に実現している恵みの大祭司としておいでになったのですから、人間の手で造られたのではない、すなわち、この世のものではない、更に大きく、更に完全な幕屋を通り、

12 雄山羊と若い雄牛の血によらないで、御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖いを成し遂げられたのです。

13 なぜなら、もし、雄山羊と雄牛の血、また雌牛の灰が、汚れた者たちに振りかけられて、彼らを聖なる者とし、その身を清めるならば、

14 まして、永遠の“霊”によって、御自身をきずのないものとして神に献げられたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神を礼拝するようにさせないでしょうか。

15 こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者なのです。それは、最初の契約の下で犯された罪の贖いとして、キリストが死んでくださったので、召された者たちが、既に約束されている永遠の財産を受け継ぐためにほかなりません。

25 また、キリストがそうなさったのは、大祭司が年ごとに自分のものでない血を携えて聖所に入るように、度々御自身をお献げになるためではありません。

26 もしそうだとすれば、天地創造の時から度々苦しまねばならなかったはずですが、ところが実際は、世の終わりにただ一度、御自身をいけにえとして献げて罪を取り去るために、現れてくださいました。

27 また、人間にはただ一度死ぬことと、その後に裁きを受けることが定まっているように、

28 キリストも、多くの人の罪を負うためにただ一度身を献げられた後、二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです。

これまでの旧約的な儀式による「清め」や「赦し」は厳密に言えば、「心機一転」「再出発」を表明する「儀式」であり「いわばみそぎ儀礼」だったと言えると思います。

もしかすると、それは形式としては日本における正月の初詣などと似ているかもしれませんが。

それをすることで、初詣に行った本人はなんとなく「心機一転」「再出発」を強く意識できます。

しかし、それ自体、あるいはその「神殿」自体が何かを提供してくれるわけではありません。

お守りを購入したり、お賽銭を入れたりして、こちら側が「行動する」ことで、なにが自分の心と生活に良いことが起こることを期待するわけです。

ユダヤの社会では神殿で多くの牛や羊がほふられ、それらを通して「やがて本物の贖い主」がやってきて私達の罪を赦すために贖いを実行してくれるのだと教えられていました。

しかし、淡々と儀式は続けられており、いつの間にかそれを続けること自体に「救いがある」ような錯覚さえ持つ人達がきつとたくさんいたと思います。

イエス様は、そういう「儀式」「形式」の本物として、やってきてくださいました。旧約では罪と死はふかく結びついていました。「罪の支払う報酬は死である」という言葉を思い出します。私の罪が赦されるためには、私は人に対しても神に対しても謝罪や償いをしなければなりません。

そして罪の報酬が死だとすれば、神に対しての償いは「いのちの提供」なので、わたしは自分でそれを実行することができません。だからこそ、雄山羊や雄牛の血を代理に立てて、民や祭壇に注いで、私の身代わりを受け取ってもらった儀式が必要だったのです。

ところが、イエス様は自らを十字架にかけられることで、私達の身代わりに、私達自身になってくださって罪の償いを果たしてくださったのです。

イエス様の贖いはイエス様ご自身が永遠の存在なので、永続的、永遠にその影響が残ります。

今、生きておられるイエス様は、私の罪を認め、あの十字架を指さして、「わたしはあそこであな自身になって、罪の裁きを受けましたよ」と言ってくださいます。

その効果は永遠です。

しかも、思い込みとか、通過儀礼ではなく、実際イエス様が苦しみに遭われたことでリアルにすべての人のための「贖い」がそこで実行され、神様はイエス様を復活させることで、その贖いを承認なさったのです。

初詣よりも、お宮参りよりも、はるかに「リアルな効果をもたらすのがイエス様の十字架と復活」による罪の赦しと永遠のいのちの希望です。

あなたのために、実際にイエス様は来て、苦しみ、死なれ、よみがえられました。

それは神様が私達に示された永遠の愛の証しなのです。

ヨハネの手紙第一

4章9-10節

9 神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

* *

贖い主が来てくださった！

罪の赦しと永遠のいのちの希望のための贖いが実現したのです。

献金や努力や犠牲などでは、どうしても得ることのできない「贖いの実体験」をイエス様は私たちにもたらしてくださいました。

私たちの行為ではなく、神様の側からの愛と犠牲によって。

イエス様は遣わされ、贖い主としてその役割を果たしてくださいました。

このお方に愛され、守られて生きること。

祝福はまさにここから始まります。

* *

Youtube での礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/JI4SZD4xWj0>